

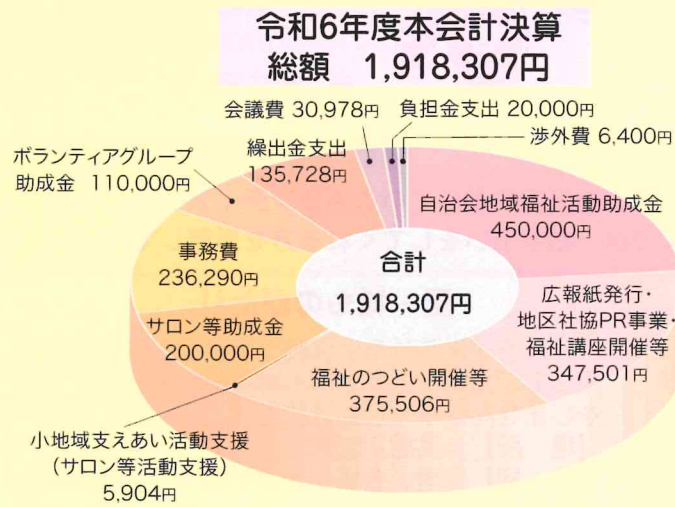
城山地区社会福祉協議会とは

令和7年度

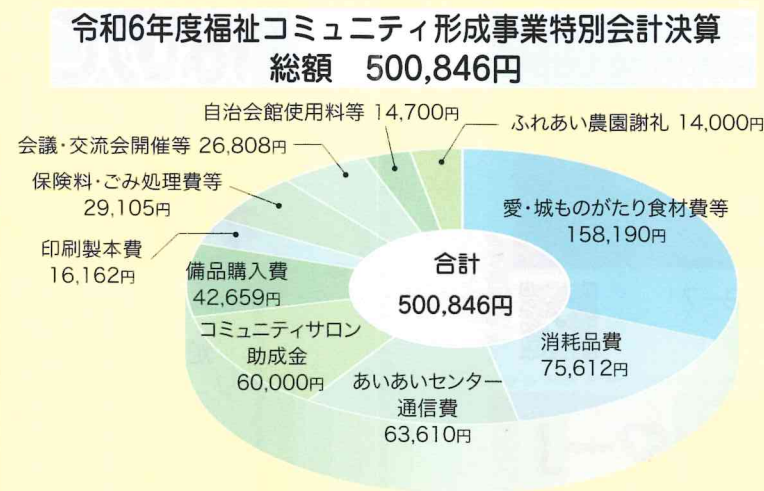
城山地区社会福祉協議会「総会」を開催

みなさんと一緒に、地域の福祉課題に取り組む住民組織です。
城山地区の自治会や民生委員・児童委員、地域団体などの様々な団体の
方が集まって「助けあい・支えあい」のまちづくりを目指して活動しています。

令和7年度総会が5月21日(水)に開催され、令和6年度事業報告・決算、
令和7年度事業計画・予算等が承認されました。



令和6年度は、地域食堂「愛・城ものがたり」、「しろやまふれあい農園」、助けあい支えあい事業「あい♡あいセンター」、「愛の募金箱」の「4・あいプロジェクト」を中心に、様々な事業を展開しました。



令和7年度予算と予定する主な事業 本会計予算額 2,565,000円 福祉コミュニティ形成事業会計予算額 641,000円

- * 地域福祉活動助成金事業…自治会・ボランティアグループ・高齢者サロン等への助成
- * 福祉啓発事業…シニア向けスマホ教室・シニア向け料理教室の開催
- * 愛の募金箱事業…地区内の店舗、事業所等のご支援による活動財源の造成
- * 地域福祉活動事業…「あい♡あいセンター」・「愛・城ものがたり」・「ふれあい農園」の運営、地域サロン等への支援など
- * 地域啓発事業…広報紙「はあとふるしろやま」の発行、「城山もみじまつり」「公民館まつり」等地区内行事での福祉活動のPR、11月3日(月・文化の日)「福祉のつどい」の開催

よろしくお願いします

第10期(令和7年5月21日～令和9年5月総会)の理事・監事・構成員です(敬称略)

会長 成瀬 貞司



5月に開催された総会において、城山地区社会福祉協議会の会長に選出されました成瀬貞司です。どうぞ宜しくお願い致します。

城山地区社協は、地域内で福祉的な活動をしているボランティア団体を支援するとともに、しろやまふれあい農園、愛・城ものがたり(地域食堂)、あい♡あいセンターの運営など、独自の活動も進めています。

地域を取り囲む様々な福祉的課題が山積しているなかで、地区社協の役割の重要性は益々高くなっていると思います。城山地区自治会連合会や民生委員児童委員協議会をはじめ関係する諸団体の皆様方とより一層連携を深め、城山地区の福祉向上に取り組んでまいります。

【企画部会】

- ・新規事業の企画
- ・福祉のつどい
- ・福祉講座
- ・視察研修

*林 和博(副会長)
*森川 悦子
*若月 謙二
*井上 和江
*宇留野勝幸

【広報部会】

- ・地区社協啓発活動
- ・広報紙発行
- ・城山もみじまつり

*菅野 敬子(副会長)
*高野 朝枝
*西川雄一郎
*折笠 正子

【事業部会】

- ・ボランティア支援
- ・しろやまふれあい農園
- ・農園と交流の場
- ～愛・城ものがたり

*小島 盛生(副会長)
*渡辺 政茂
*大塚 洋保
*内村多美穂

【ネットワーク部会】

- ・住民交流の場・サロン等支援
- ・城山助けあい支えあいセンター
- ・関係機関との連携

*佐藤 和雄(副会長)
*宗田真理子
*斉藤 弘文
*甘利 修
*川島 仁

【監事】

*齊藤 郁午
*八木 哲雄

【構成員】(自治会連合会)

*安西 勝正 *大用 秀行
*中野 秀人 *渋谷 隆
*井上 敏幸 *安西 忠義
*神藤 元 *高橋 章
*佐藤 信一 *中里 右幸

(民生委員児童委員協議会)

*小池 久男 *大用 祥子
*細川 勇幸 *宮本 玲子
*大貫 正弘 *三井紀美江
*橋本 紀子 *遠山多恵子
*今井 利江

(その他団体より)

*大月 雄介(まゆの里通所介護)
*木津 芳枝(福祉協会しろやま つくしの家)
*中谷 正代(社会福祉法人 かわけみ会)
*林 多加史(城山地域包括支援センター)
*大島 利通(城山商工会)

*本多 直美(傾聴花みずき)
*平井日出子(精神保健ボランティアふきのとう)
*矢部 裕子(おはなしゆめふうせん)
*高橋 和子(相模原市赤十字奉仕団城山分団)
*松平 康隆(城山地区小中学校長連絡会 相模丘中学校長)

おつかれ様でした

退任した理事・構成員です(敬称略)



*伊藤 勉 *井上 貢一 *西川 正行 *山下 聖次
*井上 章 *小原 貴弘 *中里 覚 *折田 直美
*宮崎 雅則 *柳川 雅之 *藤瀬 香理 *宮澤 榮子
*松本 三望 *大用 武 *篠原 潤子

真言宗「東光院」の視察研修から学んだこと【6月25日(水)】

古井副住職の講話は、葬儀とお墓の呪いの話から始まりました。少子高齢社会でのお墓や墓じまいの有様が不安な状況を、変革する地域に密着した寺院となっています。故人のお迎えから、納棺、そして火葬以外のすべてを僧侶が行い、「実費弁償方式」の安価で形式や様式に執着しない葬儀を行う東光院。この地域のソーシャルワークとして、二人の僧侶とその仲間(医療・福祉職)が、**生業**として「暮らしの保健室」を月2回開催し地域でお困りの方々の相談や手助けを行い、お寺をフリースペースとして地域になくはない居場所として提供。また隣接する多世代食堂「おむすび」は、食材を持ち寄り子ども達から高齢者で料理し、楽しく語り合う居場所となっています。地域の交わり合い・支え合いがコミュニティとして大切であることを学びました。(by K.H.)

